

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています
滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.256・2月12日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5 発行部数:100,000部

10年前、全国でも珍しい全面バリアフリーのイチゴ園を作り、今また「白イチゴ」の栽培に成功して全国的に話題を呼んでいる寺田忠良さんが今回の素敵な人。イチゴ園にお邪魔し、お話を伺った。



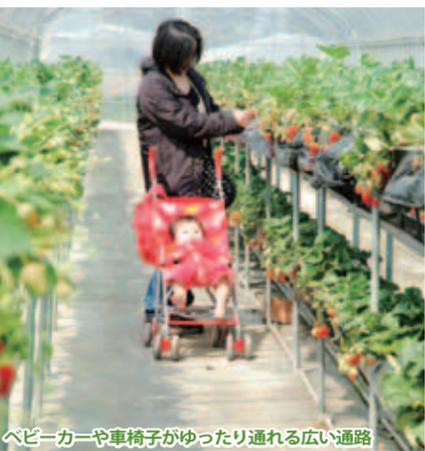
地上1メートルでの栽培

寺田さんのイチゴ園には段差がなく、通路も広い。車椅子を使う障がい者、高齢者、ベビーカーに乗った幼児などでも気軽にイチゴ狩りを楽しむことができる。イチゴを収穫しやすい地上から約1mの高さにベッド(苗床)を組む「少量土壌ベッド栽培」なのも、バリアフリーが実現した大きな要素だ。また、この栽培方法なら土や水が少なく済み、水分量の調節ができるので糖度の高いおいしいイチゴが収穫できる。人にも環境にも優しい農園だ。

らお年寄りまでみんなに愛されているイチゴを作ろう」と夫婦で始めた。さらに、「同じやるなら人と違うことを」と、県の試験場が開発し、当時はめずらしかった少量土壌ベッド栽培に注目。自分でイチゴのハウスやベッドを組み立てるうちに、車椅子が通れる通路幅にすることを思い立った。寺田さんは、車椅子生活を余儀なくされていた母親の介護経験があり、車椅子を身近に感じていたからだ。自分で車椅子に乗り、通路の幅を何度も確認した。ハウス入口の段差の解消に工夫を加えたり、車椅子用トイレを設置するなど、バリアフリーイチゴ園の実現にこぎつけた。

きっかけは母親の介護

サラリーマンだった寺田さんがイチゴ園を始めたのは10年前。会社員として働くよりも、自分の手で最初から最後までやりとげる仕事したいと考え、農業に転職。「子どもか



ベビーカーや車椅子がゆったり通れる広い通路

きつかけは母親の介護。寺田さんは、車椅子生活を余儀なくされていた母親の介護経験があり、車椅子を身近に感じていたからだ。自分で車椅子に乗り、通路の幅を何度も確認した。ハウス入口の段差の解消に工夫を加えたり、車椅子用トイレを設置するなど、バリアフリーイチゴ園の実現にこぎつけた。



来園者に伝わる思い

「開園当初はバリアフリーという言葉が一般的でなかったもので、障がい者専用農園と思われていたようです。来園された方の状態に合わせて対応するのが大変でした」と、寺田さん夫妻は当



車椅子利用者の目線にイチゴが並ぶ

「バリアフリー」と「白イチゴ」への挑戦

時を語る。さらに「最近、同じようなバリアフリー農園が開園されているようですが、安易な気持ちで始めてほしくない」と力説する。開園以来、寺田さん夫妻の真摯な姿勢が理解され、来園者が増えている。

今春は「紅白イチゴ狩り」

現在、雨でもイチゴ狩りが楽しめるようにハウスとハウスをつなぐ屋根付き通路を整備する一方、昨年から新しい試みとして、熟しても赤くならない白いイチゴ「初恋の香り」を栽培している。試しに一粒いただいたが、色が白いにもかかわらず、甘みが強く、とてもおいしかった。白いイチゴは、まだ国内数箇所ですが栽培されておらず、マスコミで取り上げられたこともあって、全国から予約



熟しても白いイチゴ「初恋の香り」



素敵な人

観光イチゴ園
サンシャインヴィレッジ 園主
寺田 忠良さん
(53歳・栗東市在住)

が殺到。出荷が追いつかないという。今春、農園では「紅白イチゴ狩り」が楽しめる。次々と新しいことに取り組む寺田さんに、その訳を聞いてみると「前に向かって進んでいないと不安だけです」と、サラリとした答えが返ってきた。寺田さんの挑戦は、これからもまだまだ続くに違いない。(取材・福本)

詳しくは www.gaido.jp/2561

観光イチゴ園
サンシャインヴィレッジ
●栗東市十里378
●TEL:090-1487-7406
●休園日:火曜日

イチゴ狩り開始予定
●3/7(土)
※紅白イチゴ狩りは3/28予定
収穫方法、収穫数の制限あり

滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みは [0120-468-012](tel:0120-468-012)

観峯館 ひなまつり 作品公募展

3月1日(日)~3月31日(火)
9:30~17:00(入館は16:00まで)
最終日は16:00終了 ※3月2日を除く月曜日は休館

【主催】・財団法人日本習字教育財団 観峯館「ひなまつり作品公募展」実行委員会
【後援】・滋賀県・東近江市・東近江市教育委員会・東近江市観光協会・平和堂財団・中日新聞社・京都新聞滋賀本社・BBCびわ湖放送・小杉農園

募集期間 | 2月9日(月)~2月20日(金)

●対象 滋賀県に在住、在勤の方、年齢・性別・国籍不問
●募集部門 [子どもの部] [大人の部]
※いずれの部も、書(習字)は半紙か学校用ハツ切判(175mm×675mm)、絵画(画材は自由)は四ツ切画用紙に限る。手芸・人形など立体作品は30cm四方に収まるもの。
※変形・変色・電気仕掛け・食品を使ったもの・生ものは応募できません。
一人一点のみ出品できます。
詳細は下記へお問い合わせいただくか、ホームページからダウンロードしていただけます。

作品募集のご案内
出品料 無料

観峯館
書道文化と世界を学ぶ博物館
財団法人 日本習字教育財団 観峯館
〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘電田町136
TEL.0748-48-4141
http://www.kampokan.com

ひな人形展特別料金(期間限定)
■一般:200円
■小・中学生:100円

フリーダイヤル 0120-154-052

相談無料

特別なんでも労働相談 2/16月~20金 10:00~19:00

なんでも労働相談

働くあなたの『困った』を解決します。 通常相談は 月~金 10時~16時

秘密 厳守 相談はフリーダイヤルでも直接来館でもOKです。

連合滋賀
〒520-0807 大津市松本2丁目10-6 連合福祉会館